

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2019

AEGIS® Crack Fill

発行日 23-09-2024

改訂日 23-09-2024

改定番号 1

1. 化学品及び会社情報

製品名 **AEGIS® Crack Fill**

登録番号 情報なし

安全データシートの供給者の詳細

製造者
AEGIS Tools International
908 West Main St.
Laurel, MT 59044
Tel: +(1)-800-548-7341
Fax: +(1)-406-628-8354

電子メールアドレス rachaelm@wpg.com

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 Chemtrec @ 001-703-741-5970 (24hrs)
+(81)-345209637 (日本)

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 接着剤。
使用上の制限 情報なし。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

誤えん有害性	分類できない
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない

GR214-A

発行日 23-09-2024

改訂日 23-09-2024

改定番号 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2
区分2 腎臓。呼吸器。	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2
区分2 呼吸器。	
水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語

危険

危険有害性情報

皮膚刺激。
重篤な眼の損傷。
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
臓器の障害のおそれ。
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。
以下の臓器の障害のおそれ： 腎臓、呼吸器。
長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ： 呼吸器。

注意書き

安全対策

取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

応急措置

気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物／容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性

性および慢性の水生影響のテストは環境分類は必要ありません決定されます。OECD試験No. 202：ミジンコ類急性遊泳阻害試験。

GR214-A

発行日 23-09-2024

改訂日 23-09-2024

改定番号 1

3. 組成及び成分情報

化学物質

該当しない。

混合物

化学品の名称	CAS番号	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号	重量%
Acrylate Ester	所有権	既存	リストアップ されていない	既存	リストアップ されていない	40-69
Methacrylate Ester Monomer	所有権	既存	リストアップ されていない	既存	リストアップ されていない	10-24
アクリル酸	79-10-7	既存	(2)-984	既存	(2)-984	3-<5
Silane Coupling Agent	所有権	既存	リストアップ されていない	既存	リストアップ されていない	1-<3

4. 応急措置

一般的なアドバイス

直ちに医師の手当てを受ける必要がある。治療を行う医師にこの安全性データシートを示すこと。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。無理に吐かせないこと。医師に連絡すること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移すこと。症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること。ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

直ちに石鹸と多量の水で少なくとも15分間洗い落とすこと。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

直ちに医師の診察／手当てを受けること。直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。洗っている間は眼を大きく広げてたままにすること。受傷部をこすらないこと。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。個人用保護衣を着用すること(項目8を参照)。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

灼熱感。掻痒感。発疹。じんま疹。

医師に対する特別な注意事項

敏感な個人に感作を引き起こすおそれがある。症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。粉末消火剤又は二酸化炭素。

使ってはならない消火剤

GR214-A

発行日 23-09-2024

改訂日 23-09-2024

改定番号 1

高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性

製品は感作性物質である、又は感作性物質を含む。皮膚接触により感作を引き起こすことがある。

危険有害性燃焼生成物

二酸化炭素(CO₂)。一酸化炭素。炭化水素。窒素酸化物(NO_x)。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。指定された個人用保護具を着用すること。十分換気されているか確認すること。人員を安全な区域に退避させること。人員を漏出／漏えい(洩)の風上に遠ざけること。

環境に対する注意事項

安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

封じ込め方法

安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法

不活性吸収材料(砂、シリカゲル、酸結合物質、汎用結合物質、おが屑など)で吸収すること。廃棄するために機械的にすくい取り、適切な容器に収容すること。

二次災害の防止策

汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

その他の情報

7項及び8項に記載されている保護措置を参照すること。

参照すべき項

詳細については項目8を参照。詳細については項目13を参照。

7: 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。十分換気されているか確認すること。光から遮断すること。

衛生対策

皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。適切な手袋および眼/顔面保護具を着用する。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件

容器を密封して換気の良い場所に保管すること。光から遮断すること。

GR214-A

発行日 23-09-2024

改訂日 23-09-2024

改定番号 1

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

特に密閉区域内では、十分な換気を確保すること。

許容濃度

化学品の名称	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
アクリル酸	-	-	TWA: 2 ppm S*

生物学的職業性ばく露限界値

供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性物質を一切含んでいない。

環境ばく露防止

製品が排水路に入らないようにすること。重大な流出を封じ込めることができない場合には、地方自治体に報告しなければならない。

保護具

手の保護具

適切な手袋を着用する。ニトリルゴム、ブチルゴム。

眼、顔面の保護具

密封性の高い安全ゴーグル。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用する。長袖の衣類。

呼吸用保護具

通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気および排気が必要になる。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観:	透明
物理状態:	液体
色:	無色
臭い:	Characteristic
臭いのしきい値:	情報なし

特性

融点/凝固点:	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲:	データなし
可燃性:	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	
可燃性又は爆発性の上限:	データなし
燃焼又は爆発の下限:	データなし
引火点:	101 °C / 213.8 °F
蒸発速度:	データなし
自然発火点:	438 °C / 820.4 °F
分解温度:	データなし
pH:	データなし

備考・方法

情報なし
情報なし
該当しない
情報なし
情報なし
ペンスキー-マルテンス密閉式試験器(PMCC)
情報なし
情報なし
情報なし

GR214-A

発行日 23-09-2024

改訂日 23-09-2024

改定番号 1

粘度		
動粘性率:	データなし	情報なし
動的粘度:	データなし	
水への溶解度:	部分可溶性	情報なし
溶解度:	データなし	情報なし
n-オクタノール/水分配係数(log値):	データなし	情報なし
蒸気圧:	データなし	情報なし
相対ガス密度:	データなし	情報なし
相対密度:	データなし	情報なし

その他の情報

爆発性:	情報なし
酸化特性:	情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性
情報なし。

化学的安定性
通常の下条件下で安定。

危険有害反応可能性
通常のプロセスではない。

避けるべき条件
光から遮断すること。熱、炎及び火花。

混触危険物質
強酸。強塩基。強酸化剤。

危険有害な分解生成物
通常の使用条件下ではない。

危険有害な重合
通常のプロセスではない。

爆発データ
静電放電に対する感度: なし。
機械的衝撃に対する感度: なし。

11. 有害性情報

製品情報

経口:
この化学物質または混合物の特定試験データはない。飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、及び下痢を引き起こすおそれがある。飲み込むと有害のおそれ。

吸入:
この化学物質または混合物の特定試験データはない。気道刺激を引き起こすおそれ。

皮膚接触:
この化学物質または混合物の特定試験データはない。皮膚接触により感作を引き起こすことがある。反復または長期的にわたる暴露による皮膚への接触は、敏感な人にアレルギー性反応を生じるおそれがある。(成分に基づく)。皮膚刺激。

GR214-A

発行日 23-09-2024

改訂日 23-09-2024

改定番号 1

眼接触:

この化学物質または混合物の特定試験データはない。重篤な眼の損傷。眼に対する不可逆な損傷を引き起こすおそれがある。

急性毒性

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている:

ATEmix(経口):	4,729.70 mg/kg
ATEmix(経皮):	3,589.70 mg/kg
ATEmix(吸入-粉じん/ミスト):	56.10 mg/l
ATEmix(吸入-蒸気):	60.60 mg/l

未知の急性毒性

混合物の0%は急性経皮毒性が未知の成分から成る。

化学品の名称	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
Acrylate Ester	= 4890 mg/kg (Rat)	> 3000 mg/kg (Rabbit)	-
Methacrylate Ester Monomer	= 5050 mg/kg (Rat)	> 3000 mg/kg (Rabbit)	-
アクリル酸	= 193 mg/kg (Rat)	> 2000 mg/kg (Rabbit)	= 3.6 mg/L (Rat) 4 h = 11.1 mg/L (Rat) 1 h
Silane Coupling Agent	= 23.5 g/kg (Rat)	> 2000 mg/kg (Rat)	> 2.28 mg/L (Rat) 6 h

症状

発赤。灼熱。失明を引き起こすおそれがある。掻痒感。発疹。じんま疹。眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。

皮膚腐食性/刺激性:

成分に対して利用可能なデータに基づく分類。皮膚を刺激する。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:

成分に対して利用可能なデータに基づく分類。火傷を引き起こす。眼に重度の障害を与えるリスクがある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性:

皮膚接触により感作を引き起こすことがある。

生殖細胞変異原性:

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。

発がん性:

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。

下表は各機関が何らかの成分を発がん性として記載しているかを示す。

化学品の名称	日本	IARC
アクリル酸		Group 3

凡例:

IARC(国際癌研究機関)

グループ3-ヒトに対する発がん性について分類できない

生殖毒性:

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露):

国または地域で採用され、安全データシートが準拠している世界調和システム(GHS)の分類基準に基づき、この製品は急性のばく露に起因して全身標的臓器毒性を引き起こすと判定されている。(STOT SE)。臓器の障害のおそれ。腎臓。呼吸器。

特定標的臓器毒性(反復ばく露):

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。呼吸器。

標的臓器影響:

呼吸器。眼。皮膚。

誤えん有害性:

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。

GR214-A

発行日 23-09-2024

改訂日 23-09-2024

改定番号 1

12. 環境影響情報

生態毒性

製品情報

性および慢性の水生影響のテストは環境分類は必要ありません決定されます。 OECD試験No. 202: ミジンコ類急性遊泳阻害試験。

化学品の名称	藻類/水生植物	魚類	甲殻類
Acrylate Ester	ErC 50 = 2.7 mg/L 96 h (Pseudokirchneriella subcapitata)	LC50: =0.704mg/L 96h (Danio rerio)	EC 50 = 1.1 mg/L 48 h (Daphnia magna)
Methacrylate Ester Monomer	-	LC50: 213 - 242mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: =227mg/L (96h, Pimephales promelas)	EC50 > 380 mg/l 48 h (Daphnia magna)
アクリル酸	EC50: =0.04mg/L (72h, Desmodesmus subspicatus) EC50: =0.17mg/L (96h, Pseudokirchneriella subcapitata)	LC50: =222mg/L (96h, Brachydanio rerio) NOEC: >= 10.1mg/L (45d, Oryzias latipes, OECD 210)	EC50: =95mg/L (48h, Daphnia magna) NOEC: =3.8mg/L (21d, Daphnia magna)
Silane Coupling Agent	EC50 > 536,00 mg/l 72 h (Scenedesmus subspicatus)	LC50: >100mg/L (96h Danio rerio)	EC50 > 876,00 mg/l 48 h (Daphnia magna)

残留性・分解性

情報なし。

生体蓄積性

この製品のデータはない。

成分情報

化学品の名称	分配係数
Acrylate Ester	4.52
Methacrylate Ester Monomer	0.47
アクリル酸	0.46
Silane Coupling Agent	2.1

土壌中の移動性

情報なし。

内分泌かく乱物質情報

この製品は、既知の内分泌かく乱物質又は内分泌かく乱が疑われる物質を一切含有していない。

他の有害影響

情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装

空の容器は、認可を受けた廃棄物取り扱い施設に搬入して再利用または廃棄しなければならない。現地の法規に従って内容物/容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

IMDG	規制対象外
ADR	規制対象外
IATA	規制対象外

15. 適用法令

該当製品に特有な安全、健康及び環境に関する規制

国内規制

日本

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)
該当しない。

労働安全衛生法

表示対象物質

安衛法表示対象物質：労働安全衛生法施行令別表第9(労働安全衛生法第57条および労働安全衛生法規則第33条関係)。

通知対象物質

安衛法通知対象物質：労働安全衛生法施行令別表第9(労働安全衛生法第57条の2および労働安全衛生法規則第34条の2の4関係)。

毒物及び劇物取締法

該当しない。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

下表は、記載されている、該当すると考えられるカットオフ値を超える成分を示す。

化学品の名称	化審法
アクリル酸	優先評価化学物質

労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1。

水質汚濁防止法

人の健康もしくは生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質として水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第3条の3で定める指定物質。

水道法

水道法 - 要検討項目。

大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質。
大気汚染防止法第2条、第4段落で定める揮発性有機化合物。

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約
該当しない。

GR214-A

発行日 23-09-2024

改訂日 23-09-2024

改定番号 1

ロッテルダム条約

該当しない。

国際インベントリー

AIIC	リストアップされていない
DSL/NDSL	適合する
EINECS/ELINCS	適合する
化審法インベントリ	適合する
IECSC	Simplified Notification
KECL	適合する
PICCS	リストアップされていない
NZIoC	リストアップされていない
TCSI	リストアップされていない
TSCA	適合する

凡例:

- TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー
DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト / 非国内物質リスト
EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー / 欧州新規届出商業用化学物質リスト
ENCS - 化審法既存物質
IECSC - 中国現有化学物質名録
KECL - 韓国既存化学物質目録
PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー
AIICS - Australian Industrial Chemicals Introduction Scheme

16. その他の情報

改訂日 23-09-2024

改訂記録 SDSの余白にある記号(*)は、その行が改訂されたことを示す。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA(時間加重平均)	STEL(短時間暴露限度)
天井値 最大限界値	* 皮膚兆候
+ 感作性物質	** 危険有害性表示

本SDSの編集に使用した主要参考文献およびデータ源

- 環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)
米国環境保護庁ChemViewデータベース
欧州化学品局
欧州食品安全機関(EFSA)
EPA(環境保護庁)
急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害性物質データベース
国際統一化学情報データベース(IUCLID)
日本政府によるGHS分類
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

GR214-A

発行日 23-09-2024

改訂日 23-09-2024

改定番号 1

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
世界保健機構

免責事項

このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートのおわり